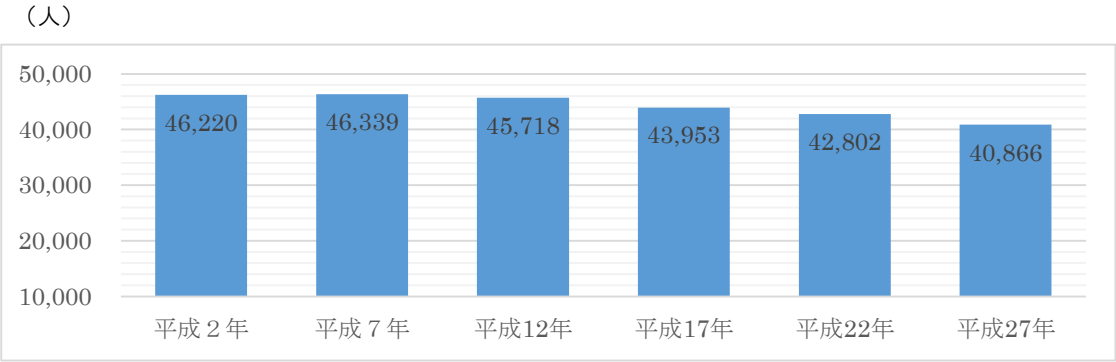
資料編　（1）　西脇市を取り巻く状況

1　人口と世帯の推移

（1）　総人口の推移

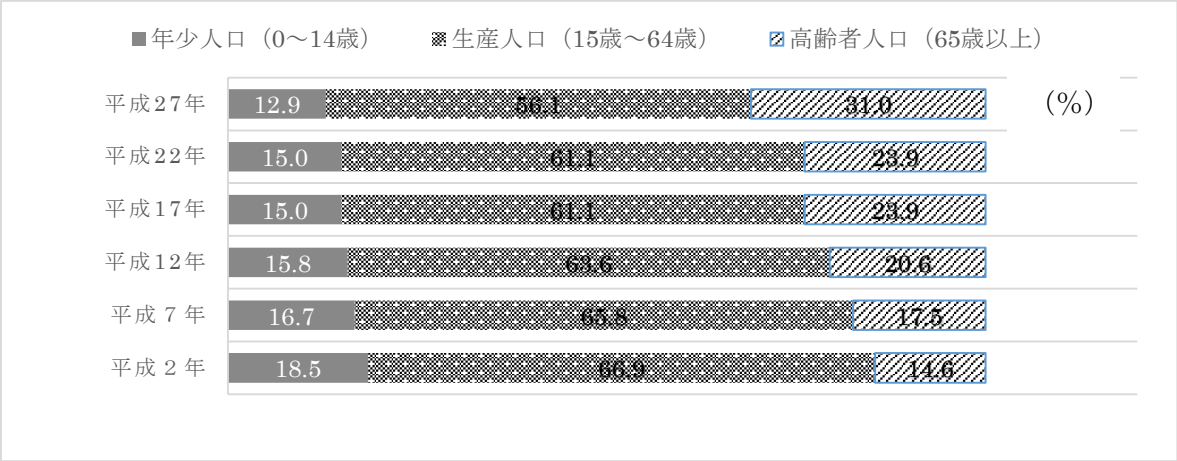
西脇市の人口の減少は続いています。



（資料　国勢調査）

（2）　年齢３区分別人口の推移

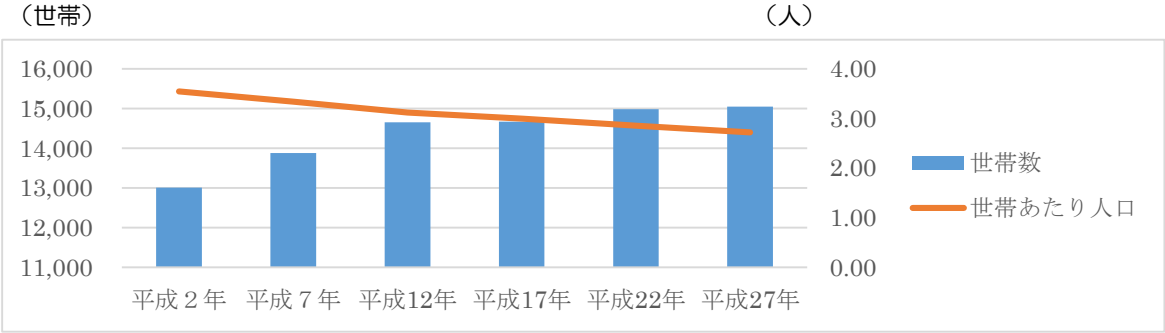
年齢３区分別人口構成比は、少子高齢化の進行が続いています。



（資料　国勢調査）

（3）　世帯数の推移

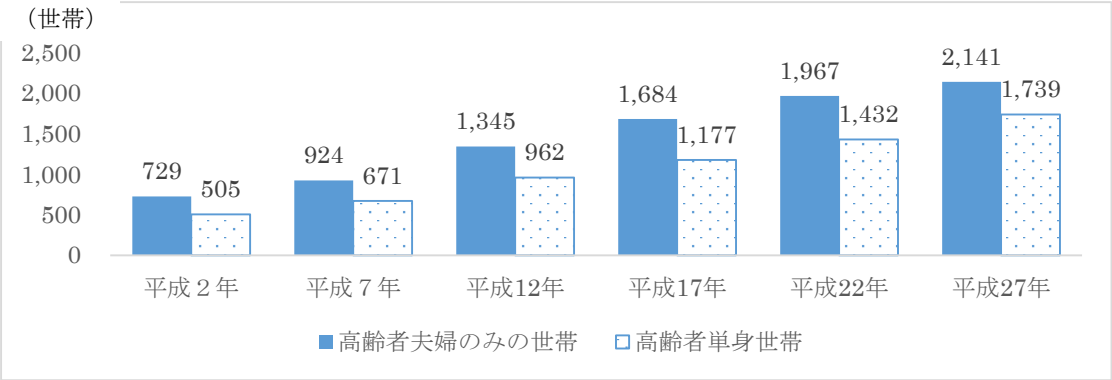
１世帯あたりの平均人口はさらに減少しています。



（資料　国勢調査）

（４）　高齢者世帯状況

高齢者世帯は、高齢者夫婦のみ世帯数、高齢者単身世帯数の増加傾向は続いています。

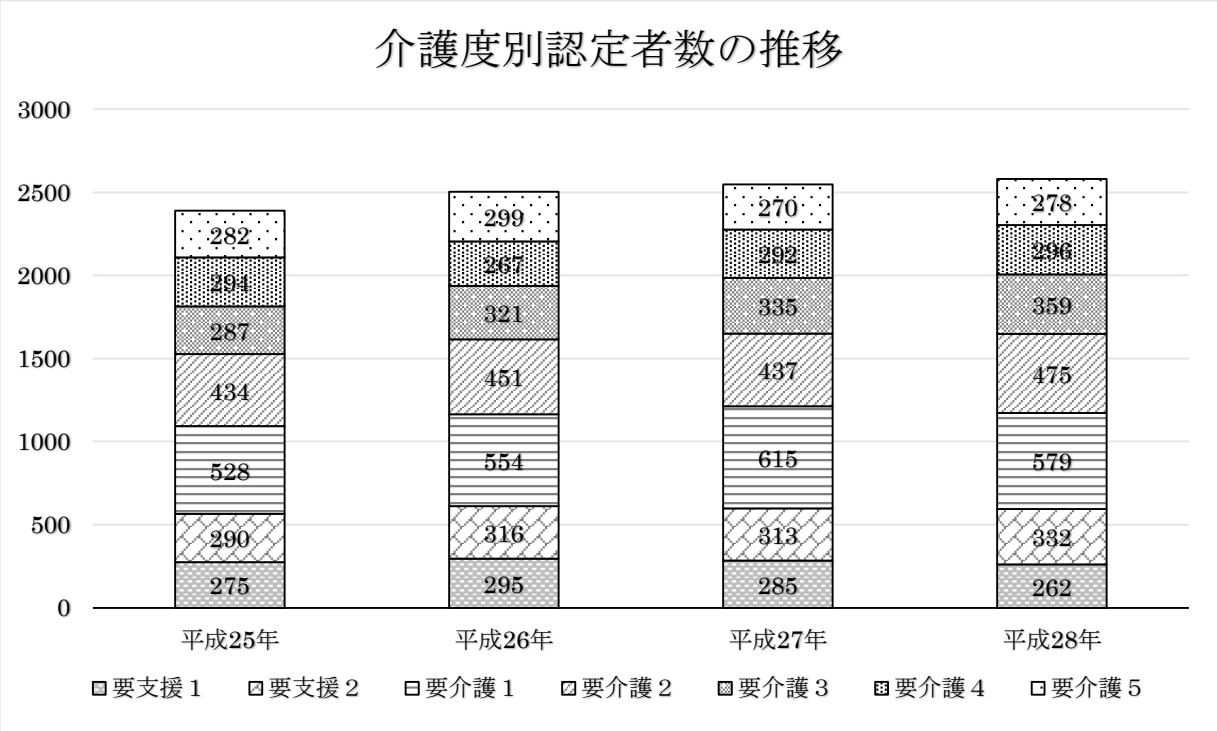


（資料　国勢調査）

２　要介護認定者の推移

要介護認定者数は、増加傾向にあります。また要介護３、要支援２が増加し、要介護５は減少しています。

平成27年度から、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的かつ継続的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築が推奨されました。

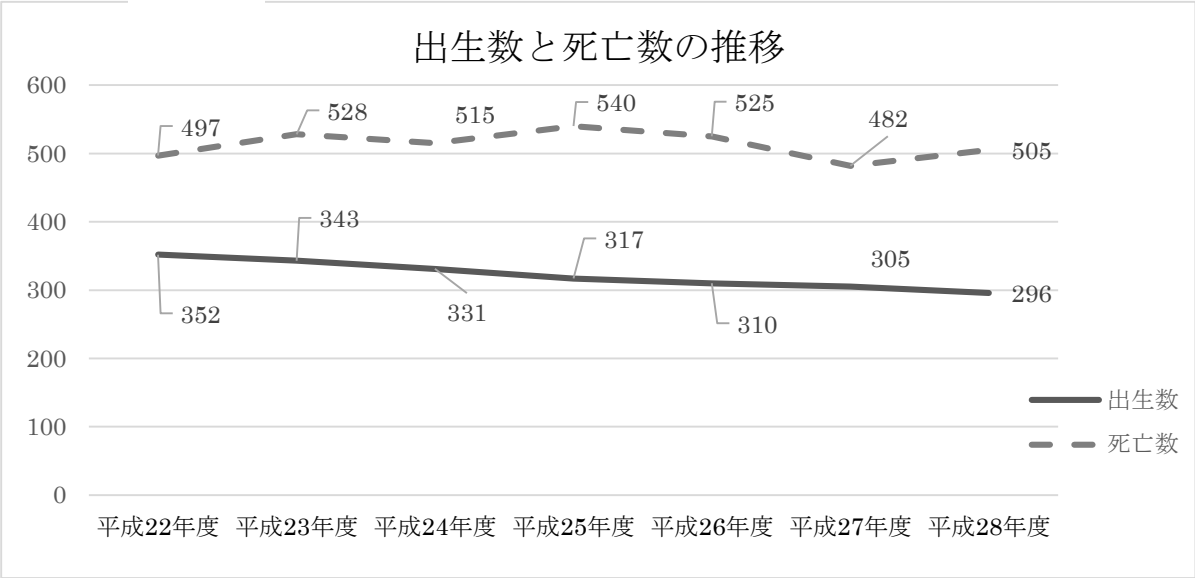


（資料　第７期西脇市高齢者安心プラン）

３　出生及び死亡の状況

（1）　出生数及び死亡数の推移

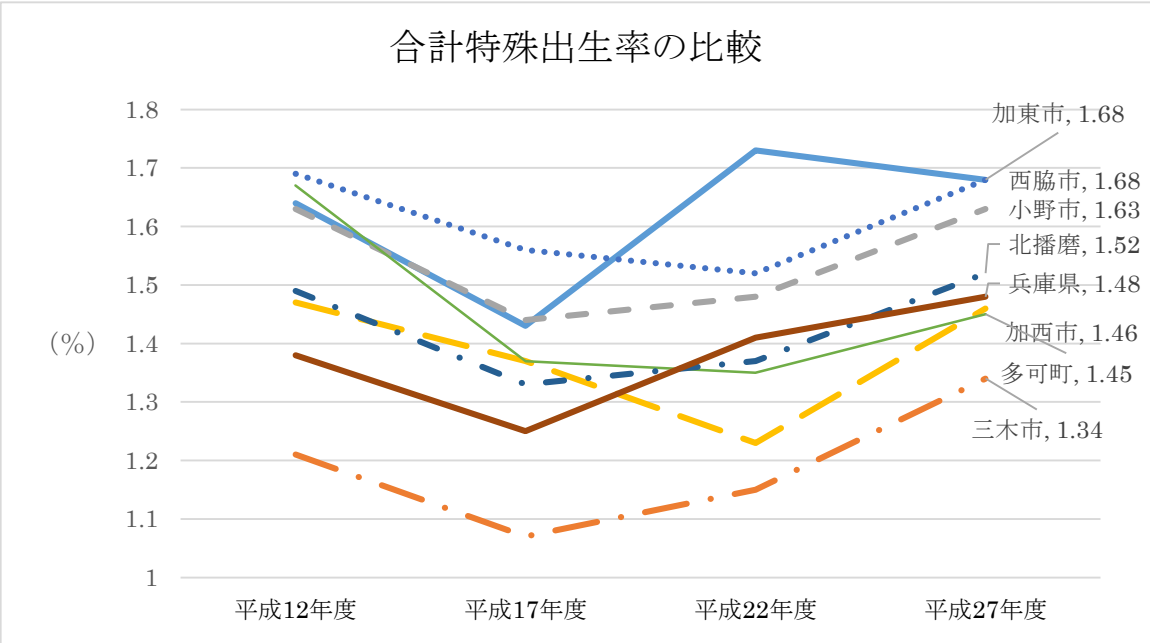
出生数は減少傾向を示し、死亡数は変動しながら推移しています。



（資料　人口動態調査　）

（2）　合計特殊出生率の推移

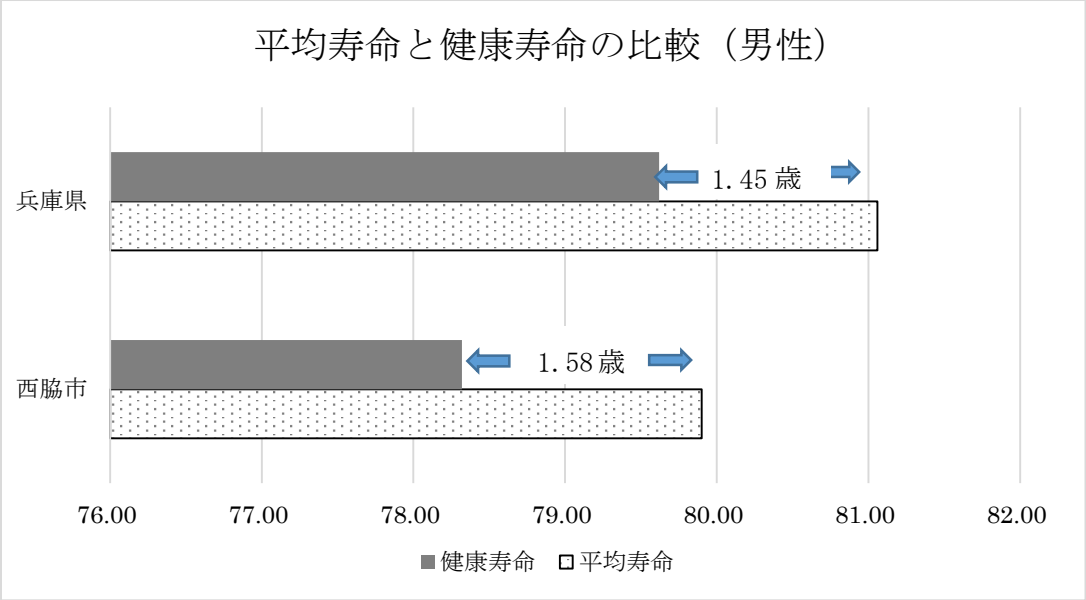
西脇市の合計特殊出生率は、全国、県及び北播磨圏域でも高い水準にあります。

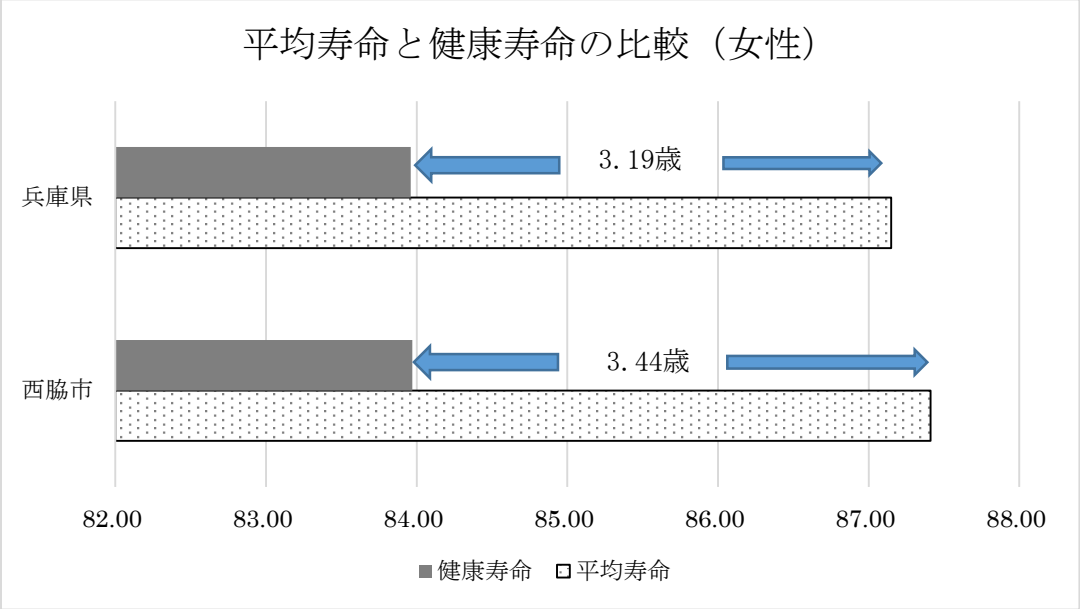


（資料　人口動態調査　）

（3）　平均寿命、健康寿命の状況

平均寿命と健康寿命の差の期間は介護が必要な期間となります。男女ともに県に比べ介護に要する時間が長くなっています。





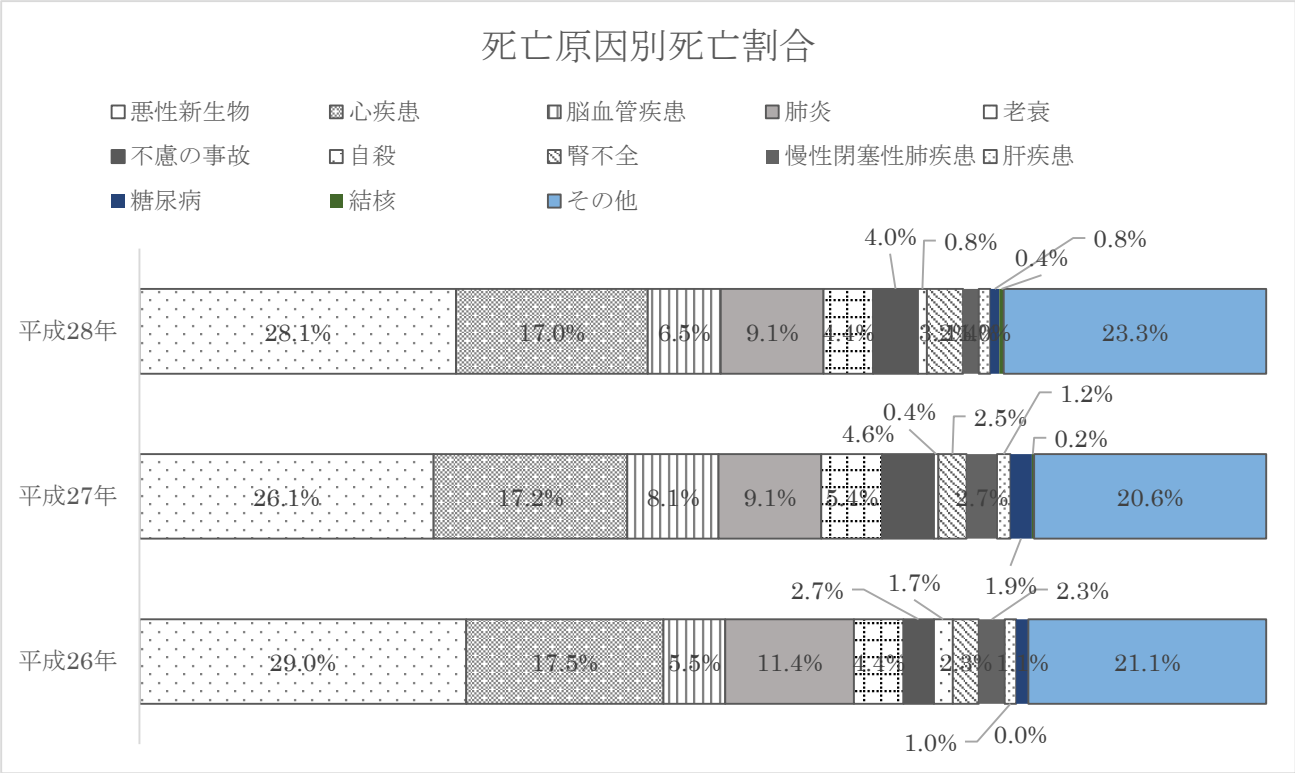
（資料　兵庫県における健康寿命の算出結果）

資料：厚生労働省が2012年９月に示した「健康寿命の算定方法の指針」と「健康寿命の算定プログラム（2015）」に基づき、兵庫県が算出　※国の平均はなし

※平均寿命：０歳児が平均して何歳まで生きるかを示したもの
※健康寿命：日常動作生活が自立している期間
介護保険の要介護２～５を不健康（要介護）な状態とする。

（4） 死亡原因別の死亡割合

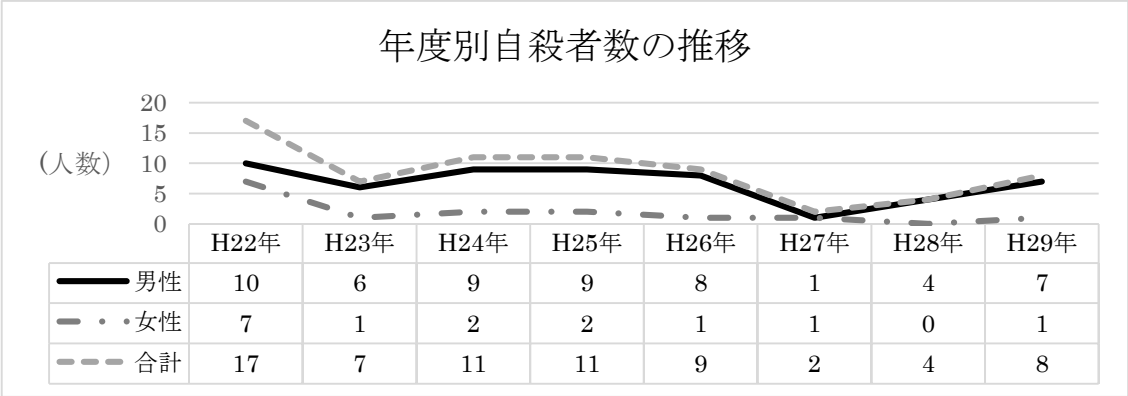
死亡率の推移は、平成27年度も、１位悪性新生物、２位心疾患、３位脳血管疾患、４位肺炎となっています。１位から３位までの疾患が全体の50%を占める傾向に変化はありません。高齢者肺炎球菌ワクチンの助成が平成24年度から始まり平成26年度から定期化され肺炎による死亡は、少し減少傾向がみられます。



（資料　兵庫県保健衛生統計）

（5） 自殺者の状況

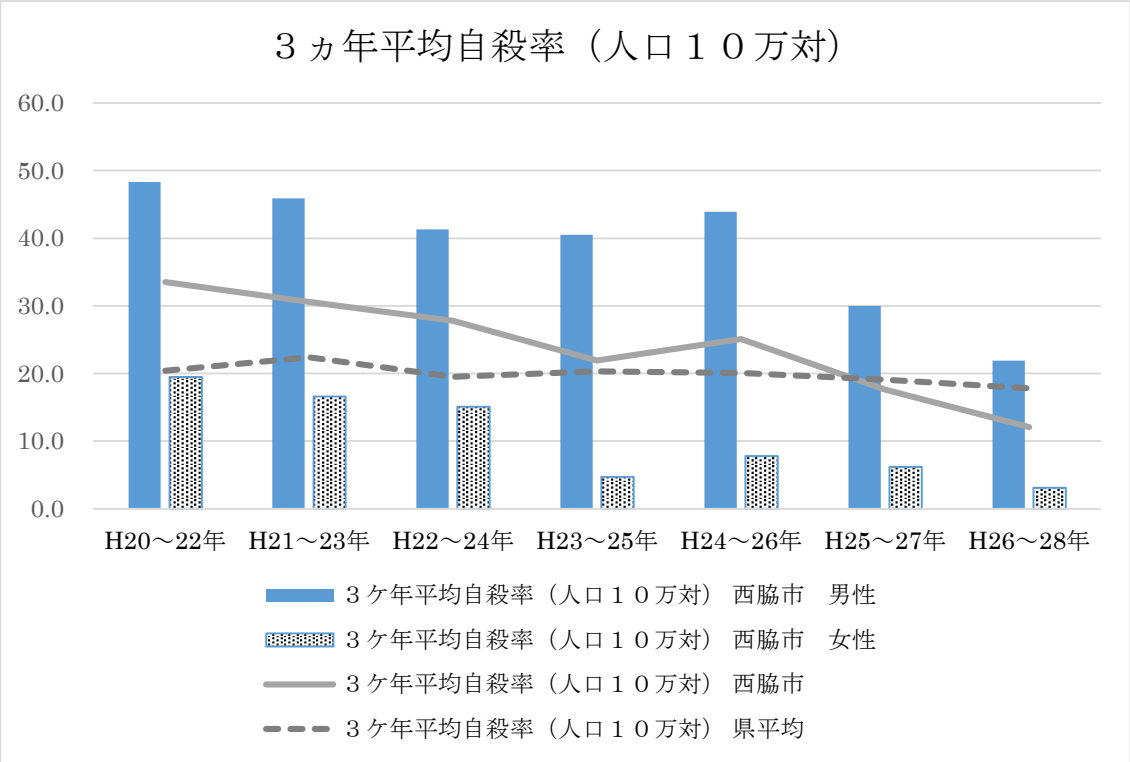
西脇市の３か年の平均自殺率（人口10万対）は減少傾向を示し、県より下回っています。しかし、年度別の自殺者数は平成27年から増加傾向がみられます。自殺者は、50から60台の男性に多く、女性が少ない状況です。



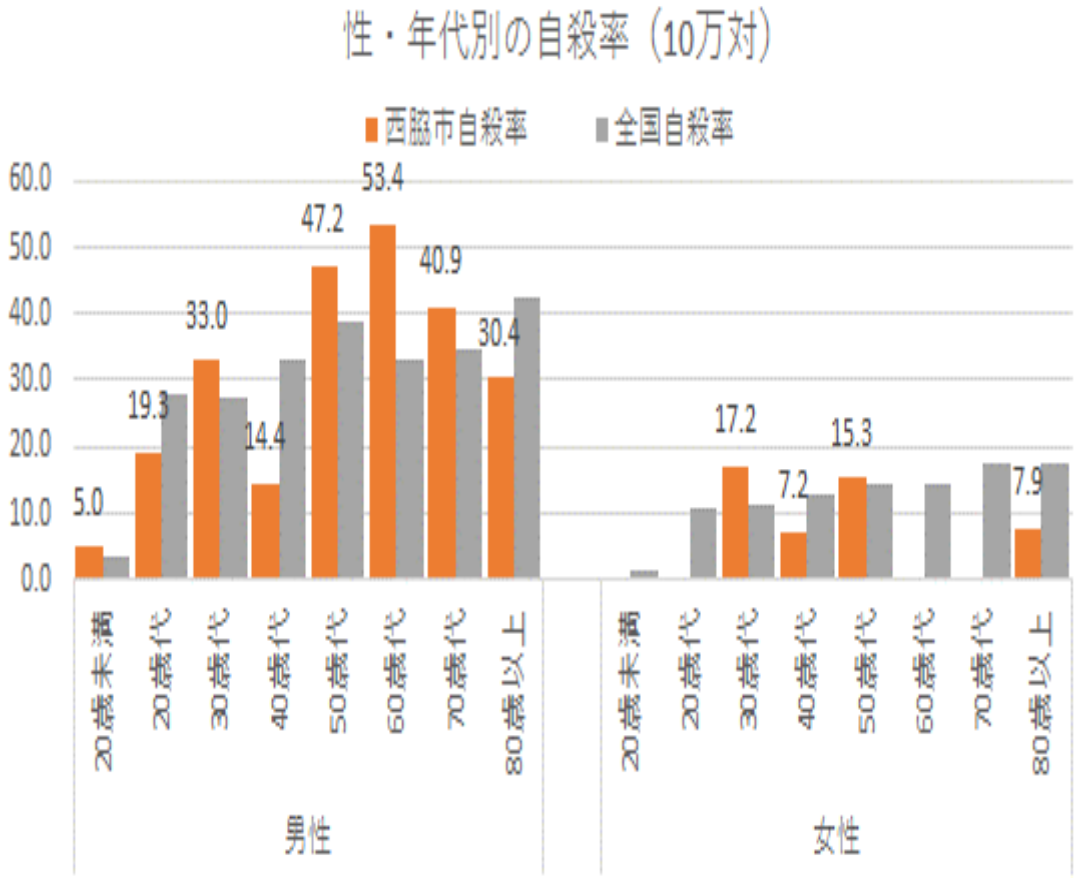
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
男性	10	6	9	9	8	1	4	7
女性	7	1	2	2	1	1	0	1
合計	17	7	11	11	9	2	4	8

※平成29年は暫定値

（資料　兵庫県自殺者統計情報）



（資料　兵庫県自殺者統計情報　）

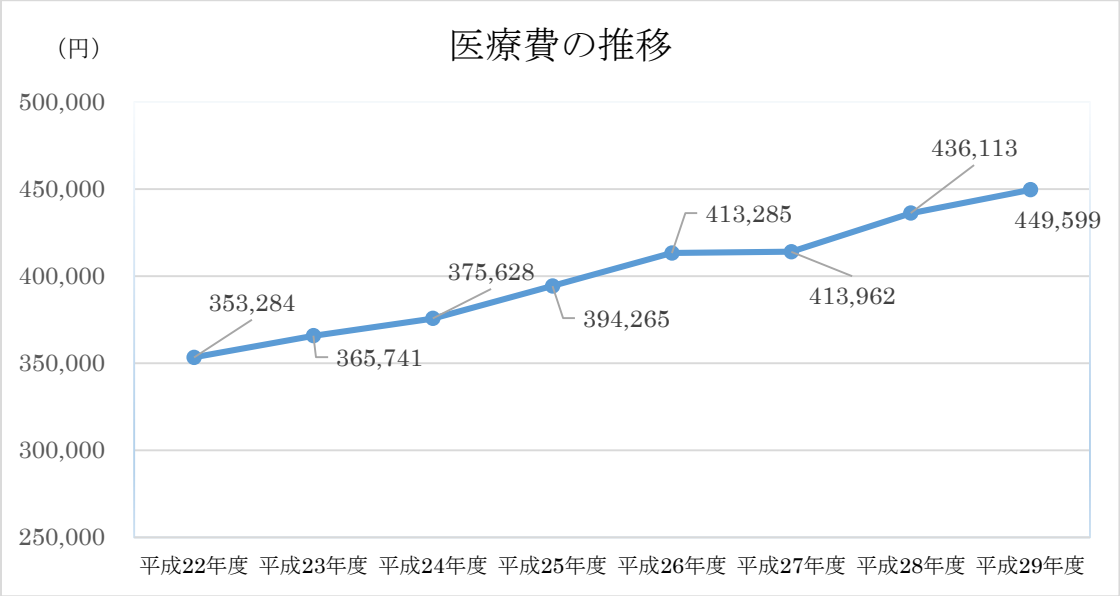


（資料　地域自殺実態プロファイル）

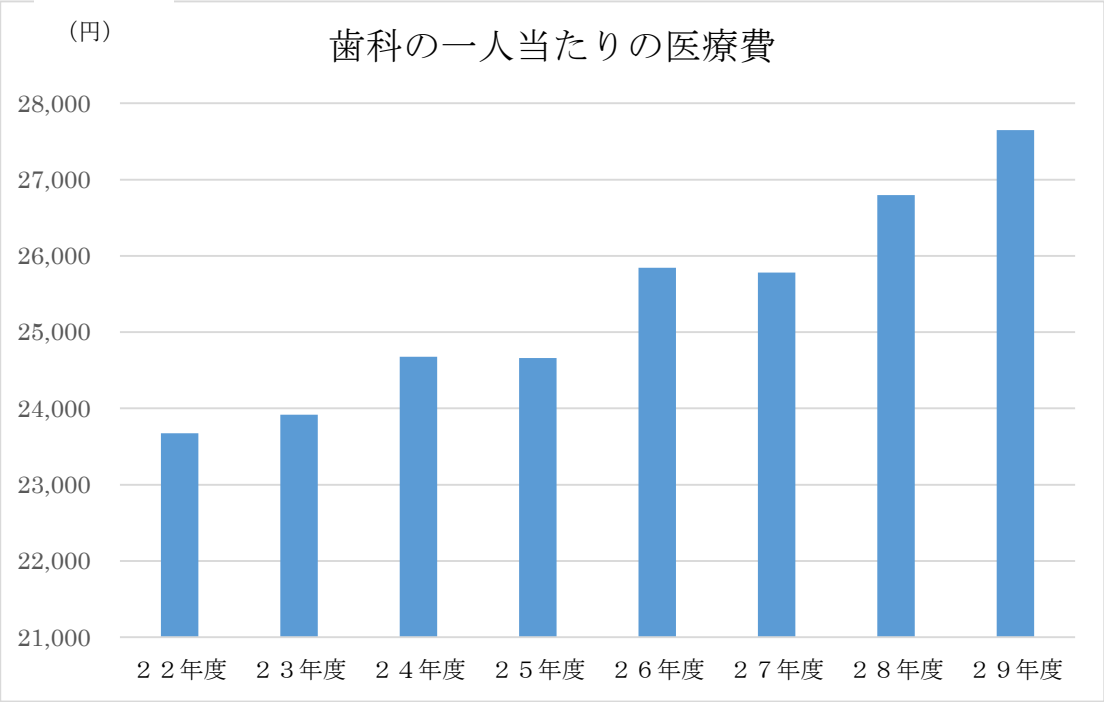
４　医療費の状況　（西脇市国民健康保険加入者の状況）

（１）　１人当たりの医療費

１人当たりの医療費全体の増加は続いています。また、歯科にかかる医療費においても増加傾向を示しています。



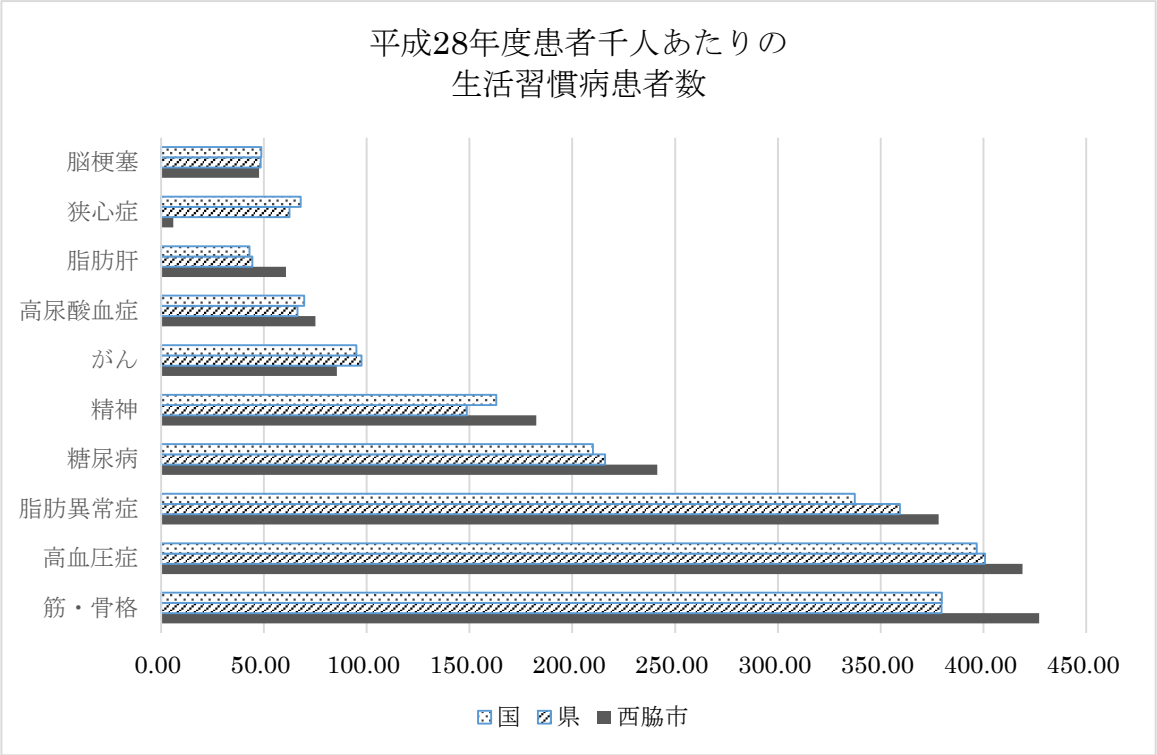
（資料　保険医療課統計資料）

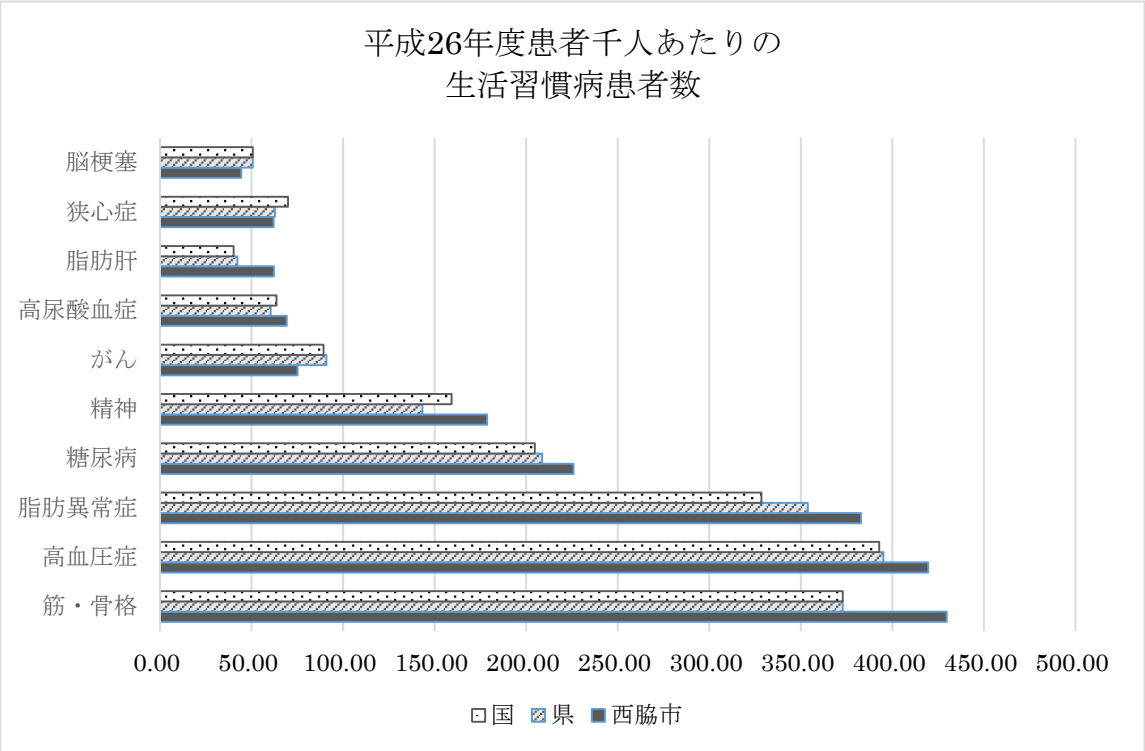


（資料　KDBシステム）

（2） 医療費の内容

筋・骨格に関する医療費が最も多く、県や国よりも多い状況です。次に血圧、脂質異常、糖尿病、精神によるものと続きます。これら県や国よりも多くなっています。



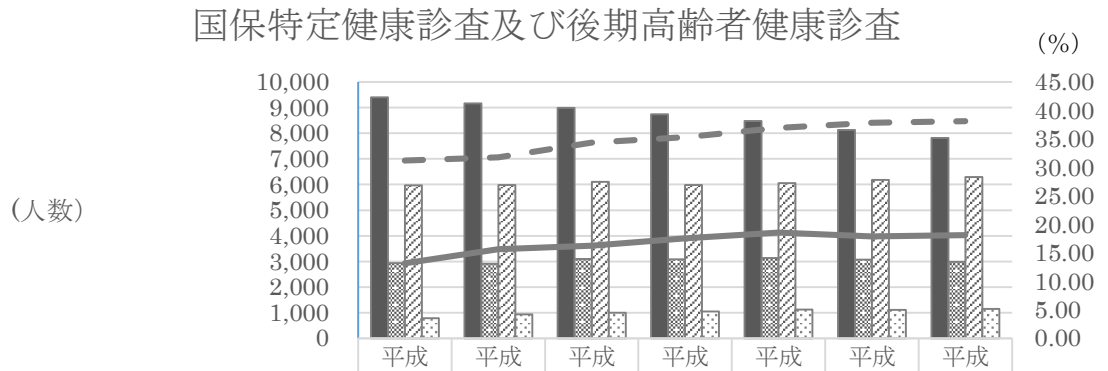


（資料　ＫＤＢシステム）

５　各種健（検）診の状況

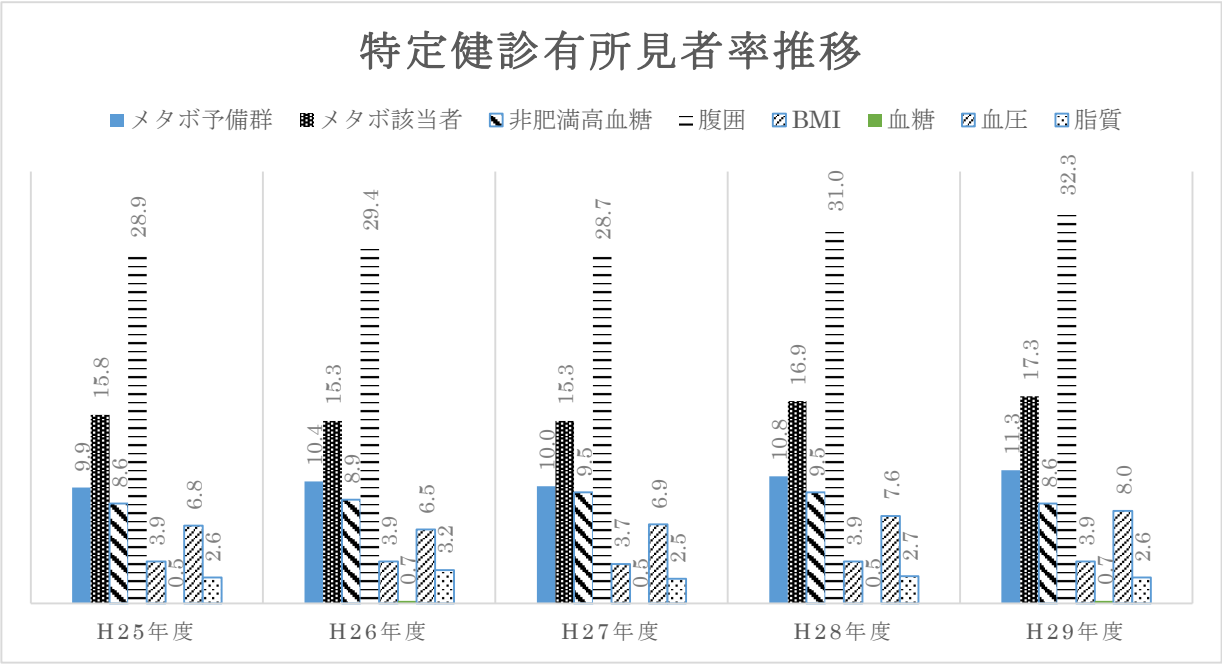
（１）　西脇市国民健康保険特定健康診査の状況

特定健康診査受診率、及び後期高齢者健康診査受診率ともに少し上昇傾向で推移しています。検診結果では、メタボ予備軍及び該当者が増加しています。



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
国保 対象者数	9,404	9,163	8,994	8,747	8,486	8,125	7,821
国保 受診者数（国保）	2,937	2,913	3,089	3,088	3,137	3,074	2,984
後期高齢 対象者数	5,973	5,982	6,101	5,979	6,055	6,180	6,290
後期高齢 受診者数	786	934	993	1,050	1,125	1,106	1,141
国保 受診率	31.23	31.79	34.35	35.30	36.97	37.83	38.15
後期高齢 受診率	13.16	15.61	16.28	17.56	18.58	17.90	18.14

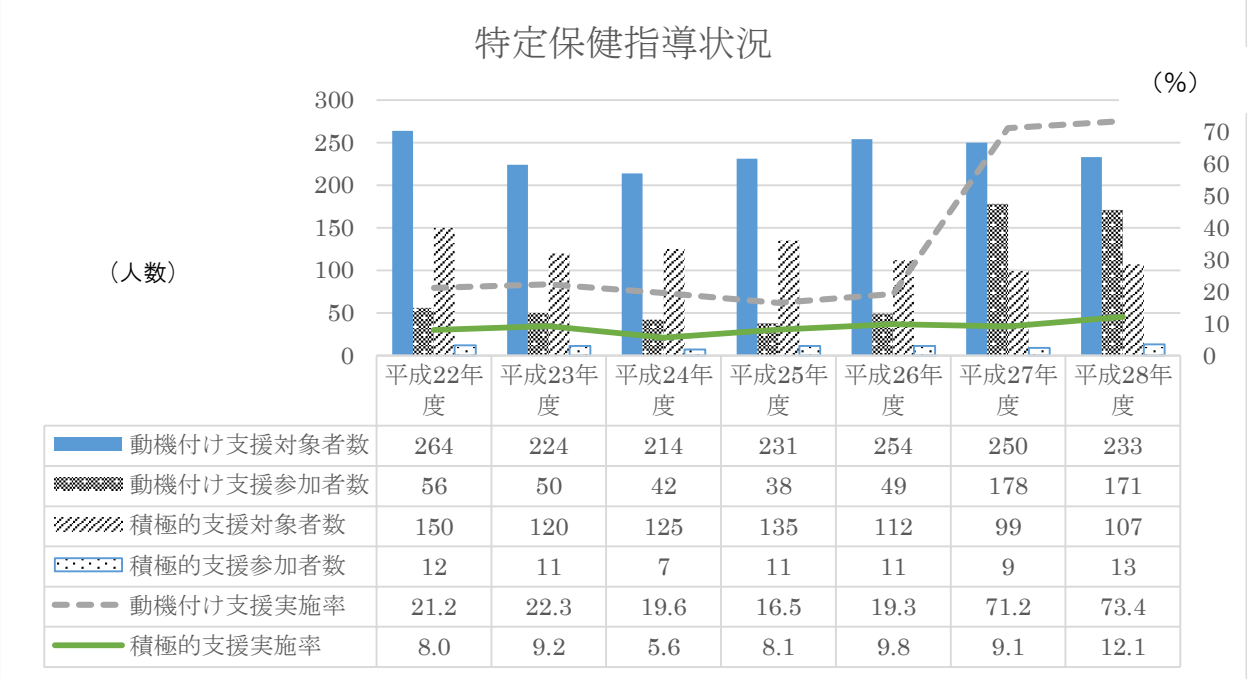
（資料　ＫＤＢシステム）



（資料　ＫＤＢシステム）

（2）　西脇市国民健康保険特定保健指導の状況

動機付け支援の参加者数は増加しているものの、積極的支援参加者数は増えていない状況です。

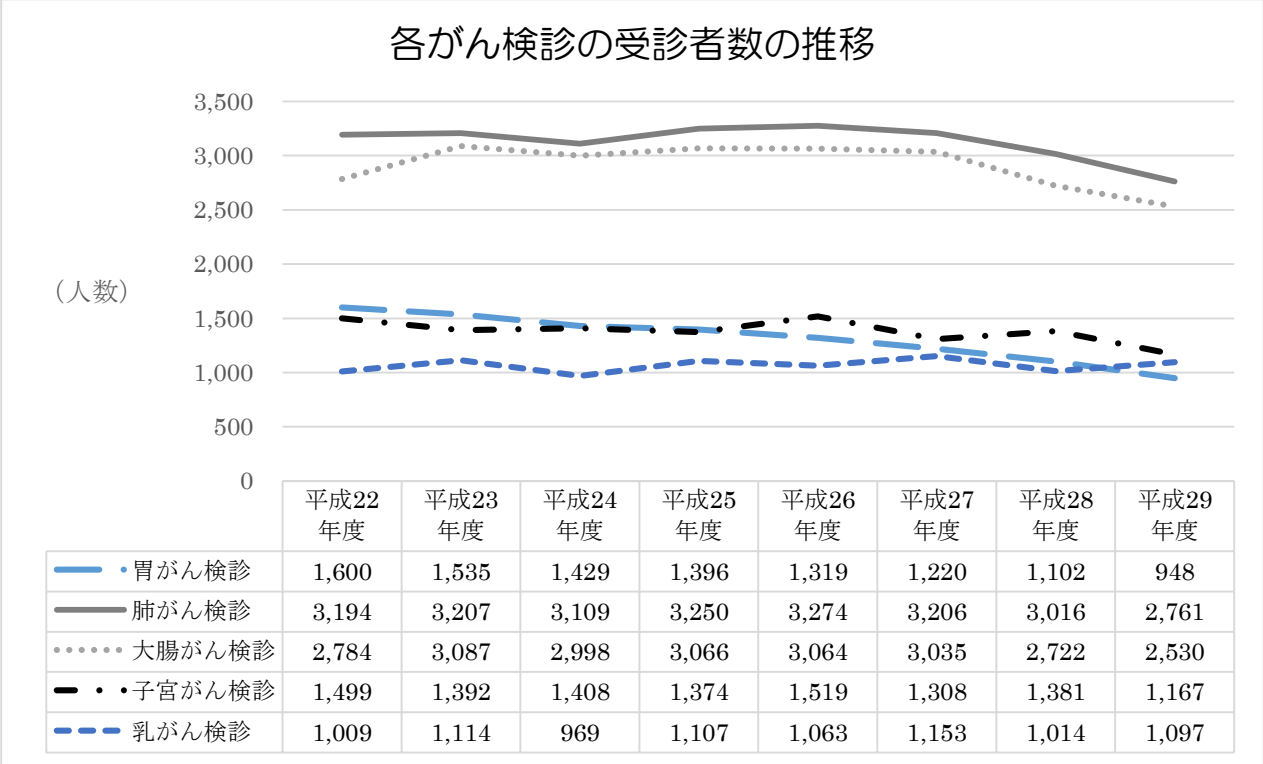


	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
動機付け支援対象者数	264	224	214	231	254	250	233
動機付け支援参加者数	56	50	42	38	49	178	171
積極的支援対象者数	150	120	125	135	112	99	107
積極的支援参加者数	12	11	7	11	11	9	13
動機付け支援実施率	21.2	22.3	19.6	16.5	19.3	71.2	73.4
積極的支援実施率	8.0	9.2	5.6	8.1	9.8	9.1	12.1

（資料　ＫＤＢシステム）

（3）　各種がん検診の状況

がん検診の受診では、「乳がん検診」以外は減少傾向で推移しています。

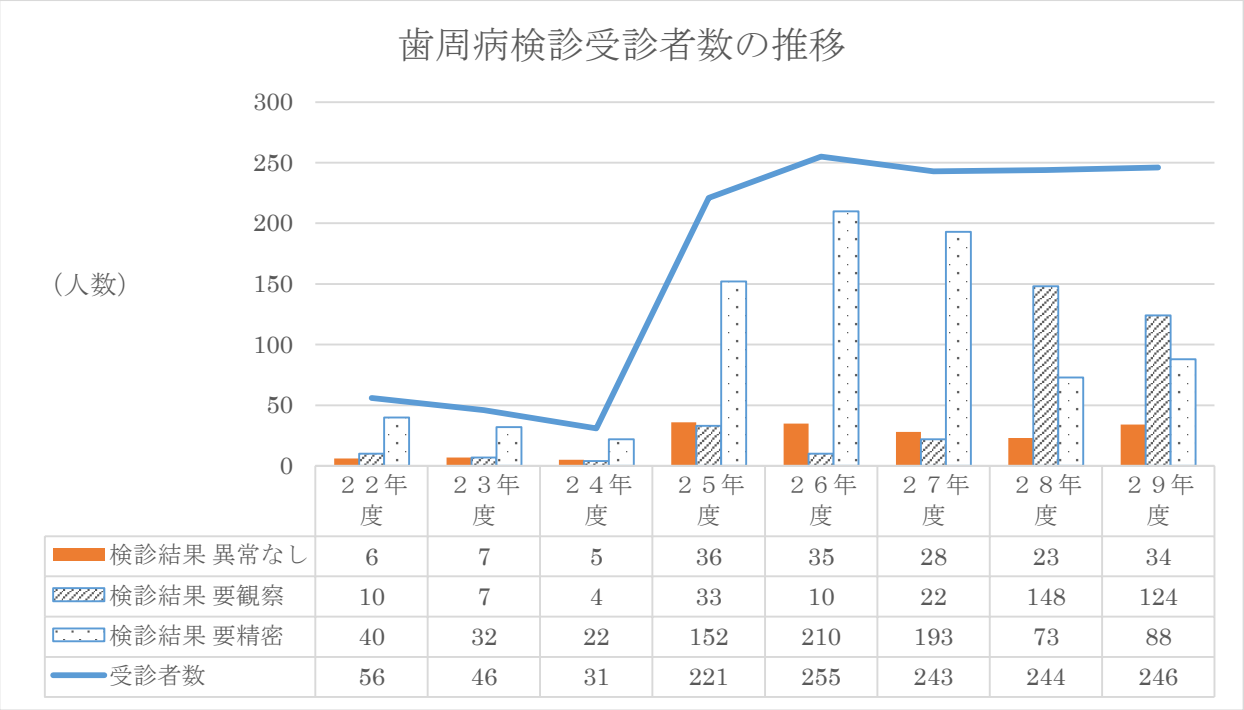


	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
胃がん検診	1,600	1,535	1,429	1,396	1,319	1,220	1,102	948
肺がん検診	3,194	3,207	3,109	3,250	3,274	3,206	3,016	2,761
大腸がん検診	2,784	3,087	2,998	3,066	3,064	3,035	2,722	2,530
子宮がん検診	1,499	1,392	1,408	1,374	1,519	1,308	1,381	1,167
乳がん検診	1,009	1,114	969	1,107	1,063	1,153	1,014	1,097

（資料　地域保健・健康増進事業報告）

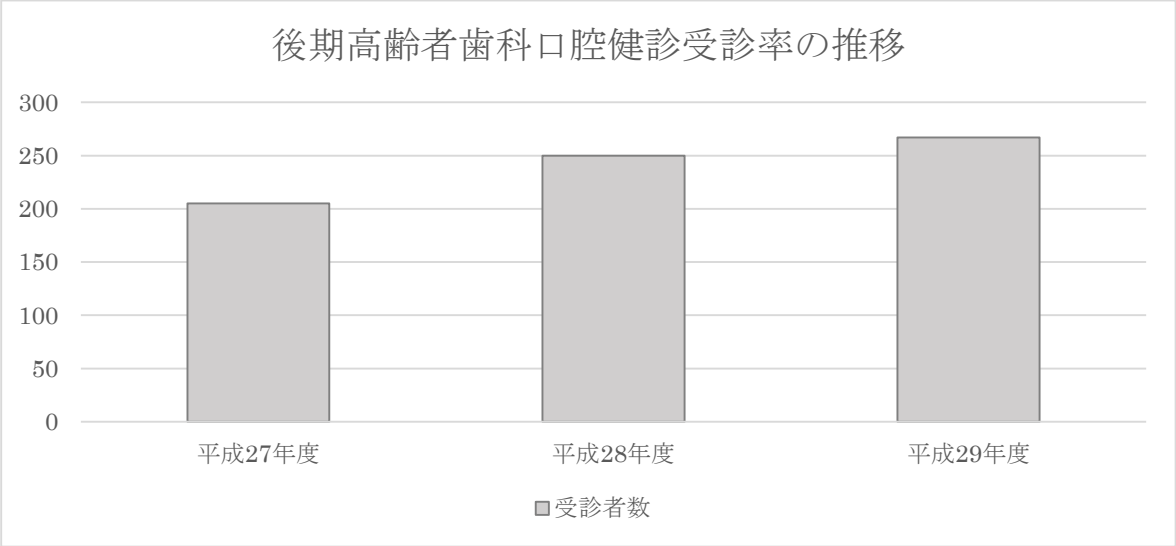
（4） 歯周病検診の状況

歯周病検診は、平成25年度から無料となり、受診率が一時増加しました。
歯周病検診の結果では、異常なしの方が全体の20%下回っています。



※平成28年度から判断基準が変更されています。

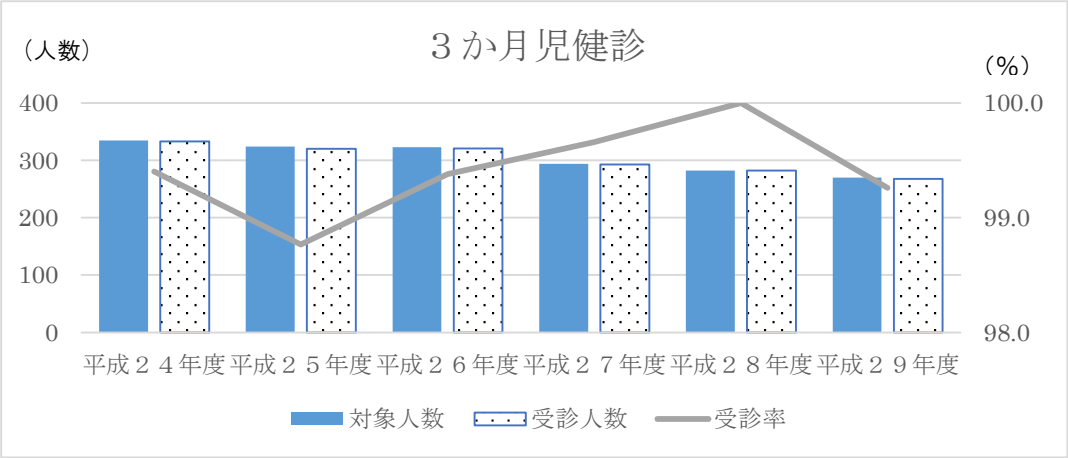
（資料　常任委員会資料）

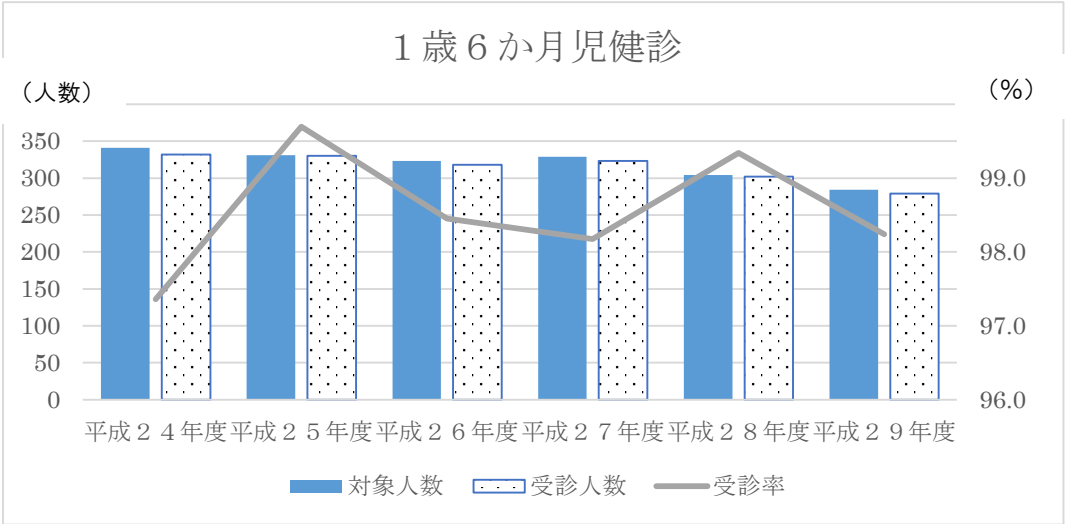


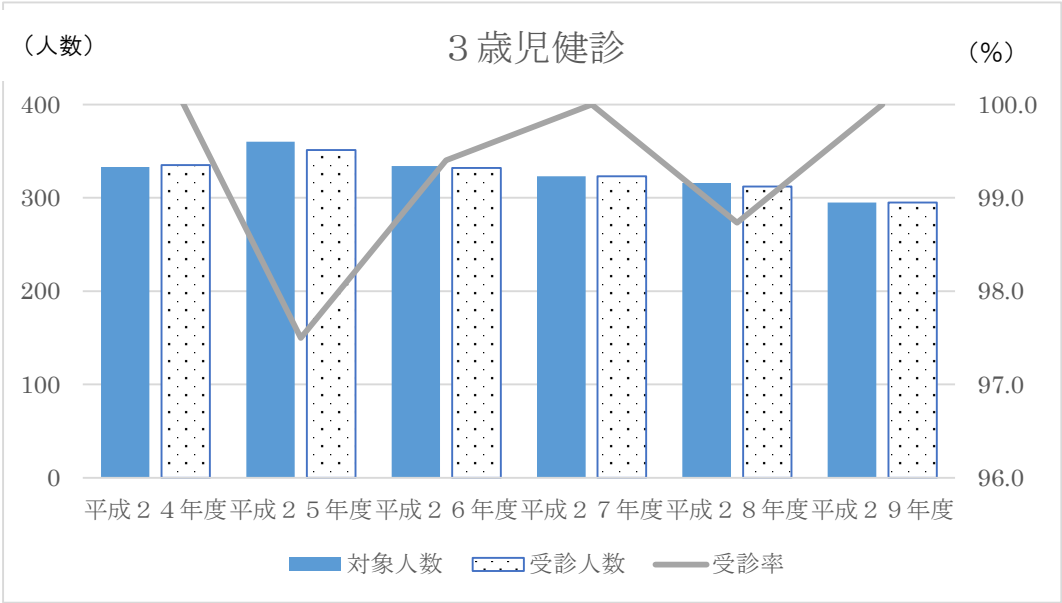
（資料　常任委員会資料）

（5） 乳幼児の健診の状況

子どもの健診の受診率は、３か月児、１歳６か月児、３歳児健診それぞれ、90%以上で推移しています。





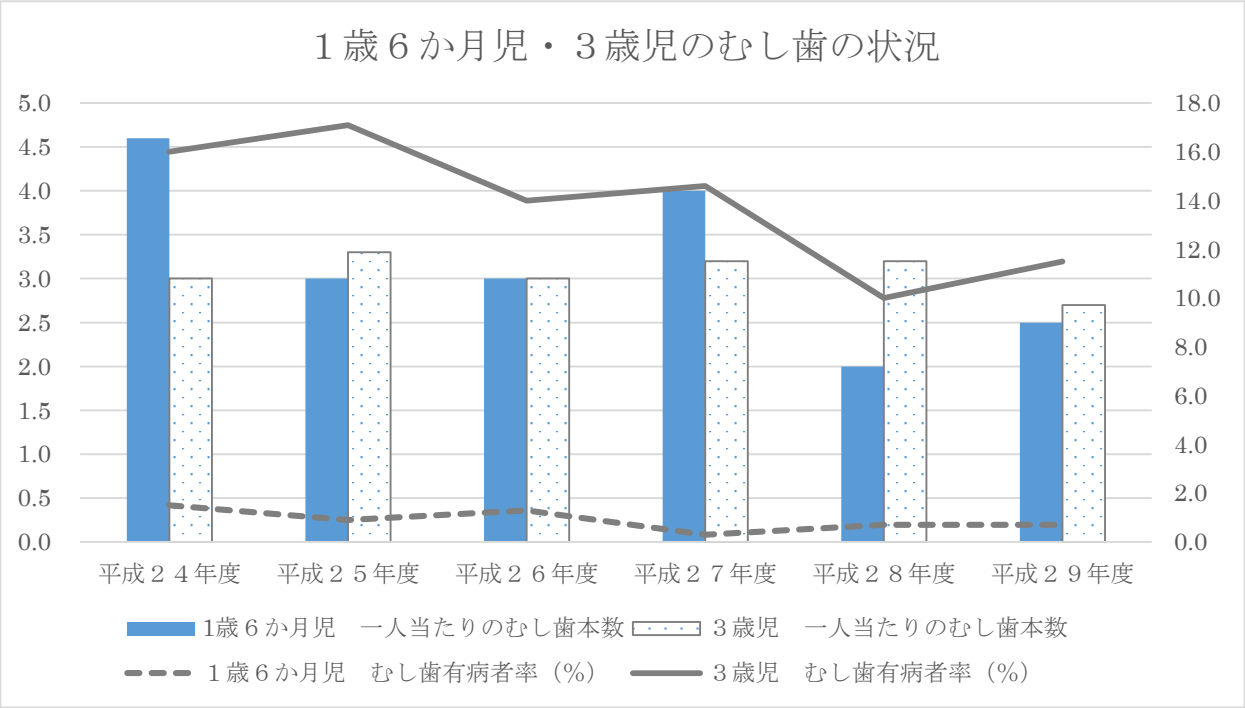


（資料　乳幼児健康審査にかかる実績報告）

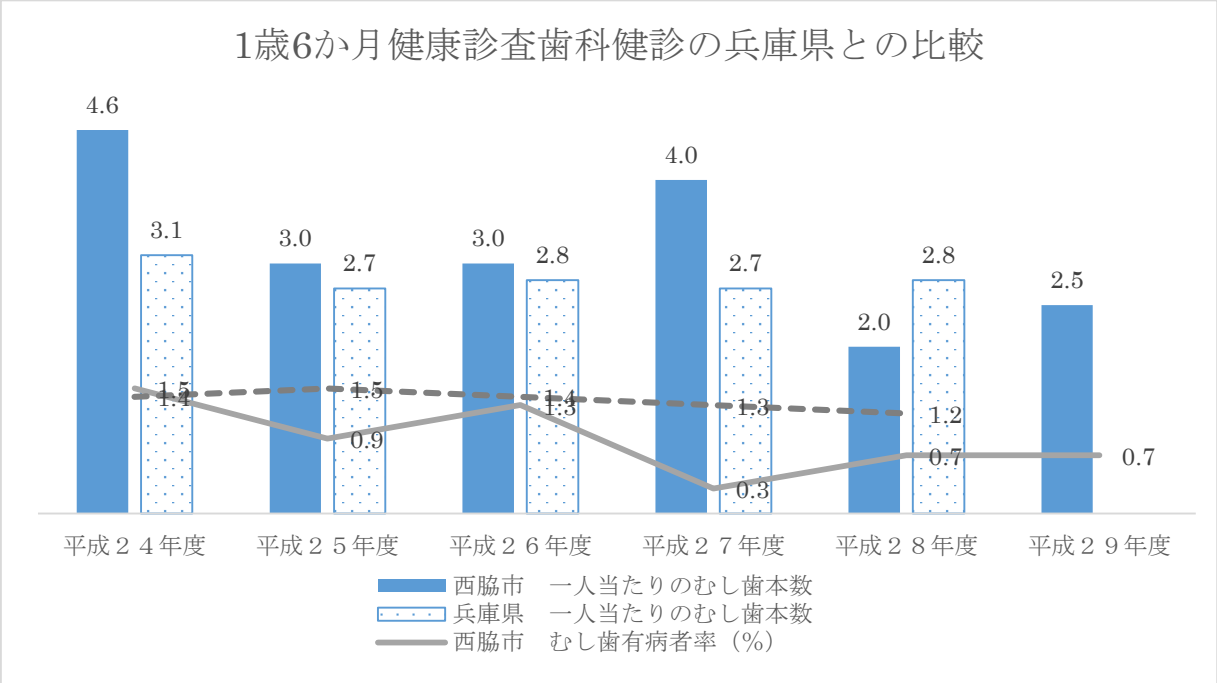
（6）　子どもの歯科健診（子どもの健診と同時実施）の状況

１歳６か月健診、３歳児健診ともにむし歯のある子どもの割合は減少しています。一人当たりの虫歯の本数は、１歳６か月児健診では、兵庫県の平均値よりも減少しています。３歳児健診では横ばいで推移しています。

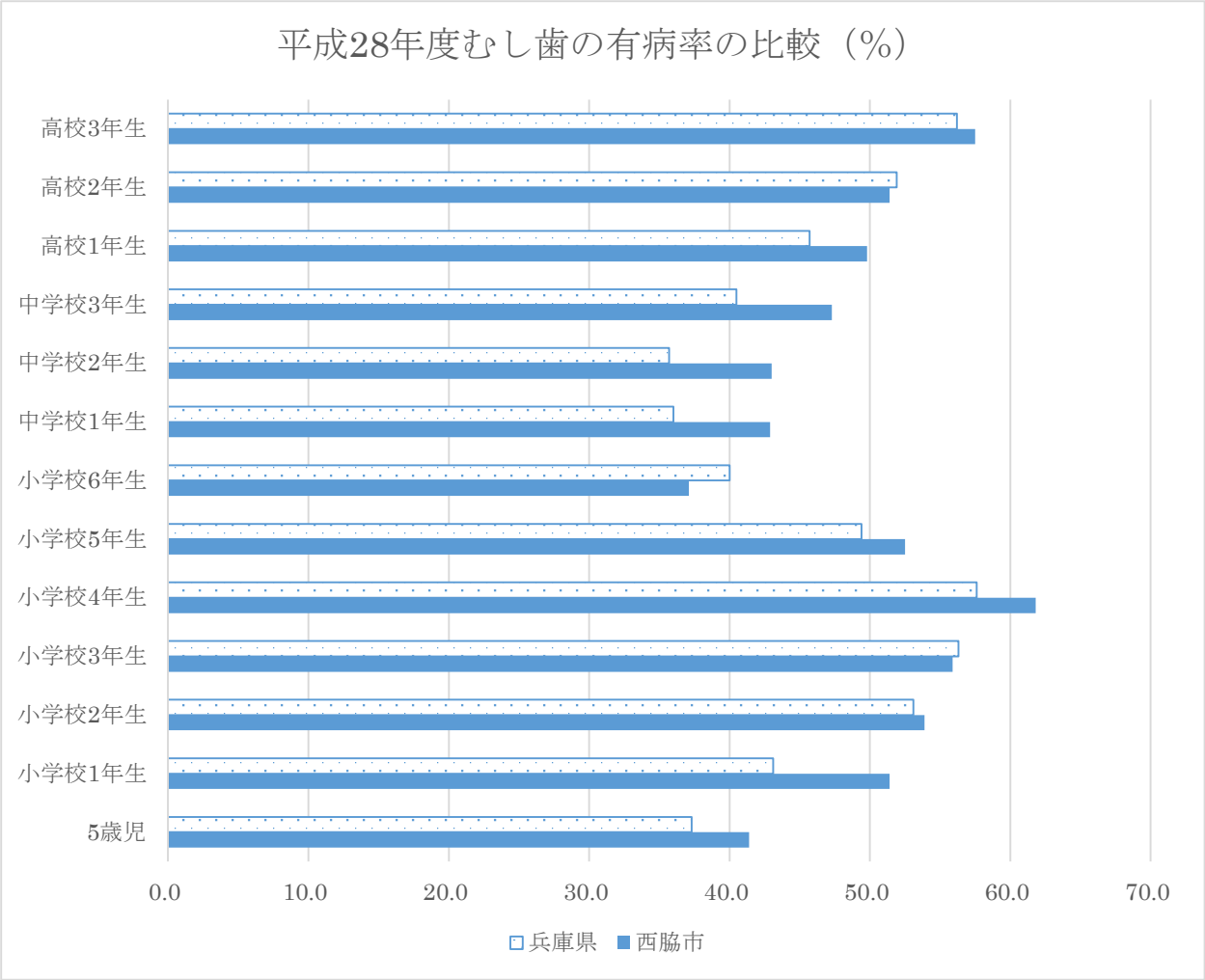
５歳児以上の年齢でのむし歯のある子の割合は、兵庫県より高い状況です。



（資料　乳幼児健康審査にかかる実績報告　）



（資料　乳幼児健康審査にかかる実績報告）



（資料　兵庫県保育所、認定子ども園、幼稚園、及び学校における歯科健診結果調査報告）